

芸備線再構築に関する実証事業(実証事業A) の概要

令和7年10月10日
中国運輸局

具体的内容

【名称】

芸備線再構築に関する実証事業（実証事業A）

【目的】

昨年度の調査事業Aで提案された、実証事業Aで取り組むことが望ましいとされた施策等を実施し、調査事業Aで試算した地域経済効果の発現を最大化するとともに、その結果を踏まえ調査事業Aの地域経済効果の試算が妥当であったかどうかを検証する

【施策の概要】

1. 住民・来訪者利用に合わせた鉄道サービスの拡充・二次交通との連携強化
2. 列車による観光コンテンツの形成等
 - ① 列車の観光コンテンツ化 ② 観光商品・旅行商品の提供 ③ 駅周辺のにぎわい創出
 - ④ 観光ツアー造成 ⑤ 企画乗車券等の設定
3. 広域的な周遊コンテンツとの連携
4. 地域拠点としての駅舎活用・産業拠点形成（机上検証）
5. 芸備線や駅周辺施設を活用した移住体験の提供による定住促進
6. 既存事業の強化・支援

【受託者】（1.を除く）

株式会社 J T B 広島支店（契約期間：令和7年7月18日～令和8年3月31日）

具体的内容

1. 住民・来訪者利用に合わせた鉄道サービスの拡充・二次交通との連携強化

①芸備線の増便・ダイヤ変更

○臨時列車運行※（7月19日～11月24日の土休日）

・新見～備後落合間

新 見 10:24発 → 備後落合 11:57着
備後落合 12:20発 → 新 見 13:58着

・広島～備後落合間

広 島 09:07発 → 備後落合 11:54着
備後落合 12:08発 → 広 島 15:09着

○ダイヤ変更・運行延長（8月21日～12月23日の平日（2学期））

（前）三次 19:29発 → 備後庄原 20:05着
（後）三次 18:41発 → 備後庄原 19:16発 → 備後落合 20:01着

○ダイヤ変更（10月14日～）

・下り

（前）新見 18:20発 → 備後落合 19:46着
（後）新見 18:51発 → 備後落合 20:18着
（前）新見 21:53発 → 東 城 22:29着
（後）新見 22:28発 → 東 城 23:04着

・上り

（前）東 城 05:22発 → 新見 06:03着
（後）東 城 06:19発 → 新見 06:55着
（前）東 城 17:04発 → 新見 17:39着
（後）東 城 17:20発 → 新見 17:56着
（前）備後落合 20:10発 → 新見 21:36着
（後）備後落合 20:40発 → 新見 22:09着

凡 例
（前）…ダイヤ変更前 発着時刻
（後）…ダイヤ変更後 発着時刻

※12月以降の臨時列車運行の有無について構成員間で検討中

具体的内容

②二次交通との連携強化

ア デマンド交通の活用

(新見市)

○周遊バス（7月19日～）

- ・ 無料周遊バス（きらめき広場哲西～矢神駅・野馳駅・鯉が窪湿原）を土休日に運行

○乗合タクシー（7月19日～）

- ・ 平日に運行する予約型乗合タクシー（哲西乗合タクシー）を土休日も運行

(庄原市)

○周遊バス・シャトルバス（7月19日～）

- ・ 無料周遊バス（東城駅～上帝釈～神龍湖）を土休日に運行
- ・ 無料シャトルバス（備後西城駅～ひろしま県民の森）を土休日に運行

○乗合タクシー（今後早期に実施）

- ・ 予約型乗合タクシー（西城地域・東城地域（小奴可地区））を平日に運行

イ 企画乗車券等の設定

（6 頁参照）

※ 2. 以降の取組については、12月以降の臨時運行の検討内容に応じて、追加・変更の可能性あり

具体的内容

2. 列車による観光コンテンツの形成等

①列車の観光コンテンツ化

(新見市) (10月4日～26日)

- ・ 新見駅～備後落合駅間で、10月の臨時列車をイベント列車「ピオーネ列車」として運行
 - 列車に新見市のマスコットキャラ「にーみん」を装飾した「ピオーネ列車」を運行し、新見駅や運行中の列車内において、特産であるピオーネ等のぶどうでお客様をおもてなし

下り（備後落合方面）：新見駅 10:24発（新見駅1番のりば）

上り（新見方面）：野馳駅 13:18発（野馳駅～布原駅間の列車内）



ピオーネ列車ヘッドマーク

(庄原市) (10月25日～)

- ・ 備後庄原駅～備後落合駅間の列車内で、オーディオドラマを配信
 - 現在運行中の「さとやまトレイン」にラッピングされた「高校生」キャラクターをアニメキャラに見立てたブランディングオーディオドラマを製作
 - 広島県にゆかりのある声優 増田俊樹さんを起用
 - 列車内でスマホアプリ「Locatone™」を通じてストーリーを配信



声優の増田俊樹さん

具体的内容

②観光商品・旅行商品の提供（10月～）

（新見市・庄原市）

- ・着地型コンテンツの開発・洗い出しのため、観光資源・既存の商品やモデルコースなどを調査し、観光協会・観光DMO・交通事業者と連携して、地域で継続販売可能な商品を開発
- ・地域の特産品を使った駅弁を開発し、イベント等において販売



オリジナル掛け紙付き駅弁
（イメージ）

③駅周辺のにぎわい創出

（新見市）（11月16日）

- ・野馳駅と矢神駅の中間に位置する 道の駅 鯉が窪/きらめき広場哲西において、新見市の特産品であるピオーネやシャインマスカット等の食と音楽を楽しめるイベント「ぱふえすin新見」を開催

（庄原市）（11月3日）

- ・「東城まるごとフェス」を開催。東城駅構内のホームを活用した音楽イベントのほか、町内の歴史あるまちなみを生かした芸術・文化に関するイベントを実施

具体的内容

④観光ツアーの造成（11月～）

- ・臨時列車運行や二次交通連携強化と合わせ、新見市・庄原市の着地型観光ツアーを造成

⑤企画乗車券等の設定（10月～）

- ・芸備線と二次交通の利用促進のため、相互に利用可能な企画乗車券を設定（調整中）
- ・乗車券等の提示により観光施設を割引利用（調整中）

3. 広域的な周遊コンテンツとの連携（10月～）

- ・Taview（沖縄JTBが開発した観光事業者向けマーケティングプラットフォーム）を活用して、全国的に有名な声優とタイアップして、スマホによるデジタル周遊スタンプラリーを実施
 - 新見市・庄原市内の観光スポットに設置された二次元コードやGPSによりスタンプを獲得、声優グッズや特産品の抽選に参加



観光スポットでのスタンプ獲得（イメージ）



デジタル周遊スタンプラリー（イメージ）

具体的内容

4. 地域拠点としての駅舎活用・産業拠点形成

- ・ターゲット企業を仮想的に設定し、地域拠点としての駅舎活用や産業拠点形成について机上検証を実施

5. 芸備線や駅周辺施設を活用した移住体験の提供による定住促進（11月～）

- ・庄原市が取り組む「ローカルダイブ・トレイン」と連携し、移住体験を提供

6. 既存事業の強化・支援（9月～）

- ・地域が主体となって実施するイベントについて、取組の支援やプロモーションを実施
 - ・比婆山駅開業90周年記念事業（9月20日）
 - ・備後落合駅開業90周年記念事業（10月5日）
 - ・庄原駅周辺地区まちづくり協議会イベント（10月18日）
 - ・道の駅 鯉が窪「にいみ肉 inてっせい」（11月23日）

具体的内容

○各種プロモーション実施

- ・ ランディングページ（9月19日～）・ Instagram（10月3日～）開設

実証事業Aの取組を掲載したランディングページを開設して、各種取組を効果的にPR

ランディングページ URL : <https://www.geibiline.com>

Instagram URL : <https://www.instagram.com/geibiline/>

- ・ キャンペーンタイトル

「自然・美味・神話の宝庫 芸備線
～新見・庄原へGO!～」

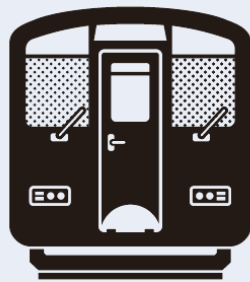
- ・ キャンペーンロゴ



ヘッドマーク風ロゴ



実証事業ランディングページ



新見・庄原へ **GO!**

自然・美味・神話の宝庫 芸備線

文字組みロゴ